

取扱説明書

IR データを取り込む

専用 IR ロダー（ソフトウェア）を使うことで、IR データを本機に取り込むことができます。

専用 IR ロダーは、ボスのホームページからダウンロードすることができます。

➔ <https://www.boss.info/jp/support/>



本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書（P.24））をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

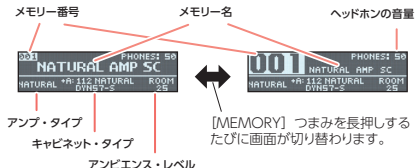
各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1 ディスプレイ

プレイ画面ではメモリー番号やメモリー名を表示します。



エディット中はパラメーターや設定値を表示します。

2 [MEMORY] つまみ

つまみを回してメモリーやヘッドホンの音量を変更します。また、つまみを押すたびに操作対象がメモリーと音量で切り替わります。

つまみを押しながら回すと、値が 10 ずつジャンプします。

つまみを長押しすると画面表示モードが切り替わります。

エディット中は、つまみを回してページを切り替えます。

3 [AMP] つまみ (※ 1)

アンプ・タイプを選びます。

4 [CABINET] つまみ (※ 1)

キャビネット・タイプを選びます。

便利な機能: FAVORITE

FAVORITE をオンすると、お気に入りのキャビネットが選びやすくなります。複数のキャビネットに FAVORITE オンの設定ができます。

FAVORITE をオン／オフする

[CABINET] つまみをダブルクリックし、FAVORITE をオン／オフします。オンのときは、CABINET 名の先頭に「+」記号が入ります。

FAVORITE オン／オフは変更するたびに本体に記憶されます。

FAVORITE CABINET を選ぶ

[CABINET] つまみを押しながら回すと、FAVORITE オンの CABINET を選ぶことができます。

5 [AMBIENCE] つまみ (※ 1)

アンビエンスのエフェクト・レベルを調節します。

※ 1 つまみを押すと、メモリーのエディットができます (P.7)。つまみを長押しすると、機器全体を設定するシステム・スイッチがオン／オフします。接続機器や演奏環境が変わった場合に設定します。

※ 2 [MENU] ボタンを押しながら [EXIT] ボタンを押すと、ライト画面になります。メモリーに保存します。

6 [MENU] ボタン (※ 2)

メニュー画面が表示されます。

7 [EXIT] ボタン (※ 2)

元の画面に戻ります。

画面によっては、実行中の機能を中断します。

8 [GAIN] つまみ

ゲイン (歪みの量) を調節します。

9 [LEVEL] つまみ

アンプの出力レベルを調節します。

10 [BASS] つまみ

アンプの低音域の音質を調節します。

11 [MIDDLE] つまみ

アンプの中音域の音質を調節します。

12 [TREBLE] つまみ

アンプの高音域の音質を調節します。

13 [▼] スイッチ (※ 3)

前のメモリーを選びます。

※ 3 ペダルを押し続けるとメモリーが速く変わります。また、[▲] スイッチと [▼] スイッチを同時に押すと、全効果を通さないバイパスになります。

14 ▲ スイッチ ※3

次のメモリーを選びます。

リア・パネル

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞リ、すべての機器の電源を切ってください。



A MIDI (OUT/IN) 端子

TRS/MIDI コネクティング・ケーブル (別売: BMIDI-5-35) で外部 MIDI 機器に接続します。

MIDI IN: 外部 MIDI 機器の操作で、本機のメモリーを切り替えることができます。

MIDI OUT: 本機のペダル・スイッチの操作で、外部 MIDI 機器を制御することができます。

※ オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。

B INPUT 端子

ギターやベース、エフェクターを接続します。

C SEND 端子 / RETURN 端子

外部エフェクターを接続します。

※ MEMORY パラメーターの SEND/RETURN (P.14) で設定が必要です。

RETURN 端子のピン配置



D OUTPUT (A/MONO、B) 端子

ギター・アンプやミキサーなどに接続します。モノで使用するときには A 端子のみに接続します。

接続するアンプに適した設定にしてお使いください。

→ 「準備する」(P.6)

E DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続する端子です。

DC IN 端子は、電源スイッチも兼ねています。DC IN 端子にプラグを差し込むと電源がオンになります。プラグを抜くとオフになります。

電源を入れる／切る

- ※ 正しく接続したら、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。
- ※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れるとき

ギター・アンプなどの電源を最後に入れてください。

電源を切るとき

ギター・アンプなどの電源を最初に切ってください。

- ※ 本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。
自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください (P.19)。
- 電源が切れると保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

サイド・パネル**F AUX IN 端子**

オーディオ・プレーヤーをステレオ・ミニ・プラグで接続します。AUX IN に入力した音声は、本体の音とミックスし、OUTPUT 端子と PHONES 端子に出力されます。音量はオーディオ・プレーヤーの音量調節で調節してください。

G PHONES 端子

ヘッドホン (別売) を接続します。
サラウンドを ON にすると、目の前にあるアンプを鳴らしているかのような定位感を再現します。

➡ 「SYSTEM パラメーター」 (P.17) ➡
PHONES の SURROUND パラメーター

H CTL 1,2/EXP 端子

CTL 1,2 端子として使う

フットスイッチ（別売:FS-5U、FS-6、FS-7）を接続して、アンプの SOLO SW のオン/オフやメモリーの切り替えができます（P.12）。

EXP 端子として使う

エクスプレッション・ペダル（別売:EV-30、Roland EV-5 など）を接続して、アンプのゲインやエフェクト音の音量などをコントロールすることができます（P.17）。

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

I USB 端子

USB2.0 に対応した市販の USB ケーブルでパソコンに接続します。

※ 充電専用のマイクロ USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

J 機能接地端子

※ 外部アースまたは大地に接地します。必要に応じて接続してください。

準備する

OUTPUT（A/MONO、B）端子に接続するアンプの種類を設定します。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. 画面の「SYSTEM」表示の下にあるつまみを押します。
3. 画面の「OUTPUT SELECT」表示の下にあるつまみを押します。
4. A、B の TYPE を設定します。

メモ

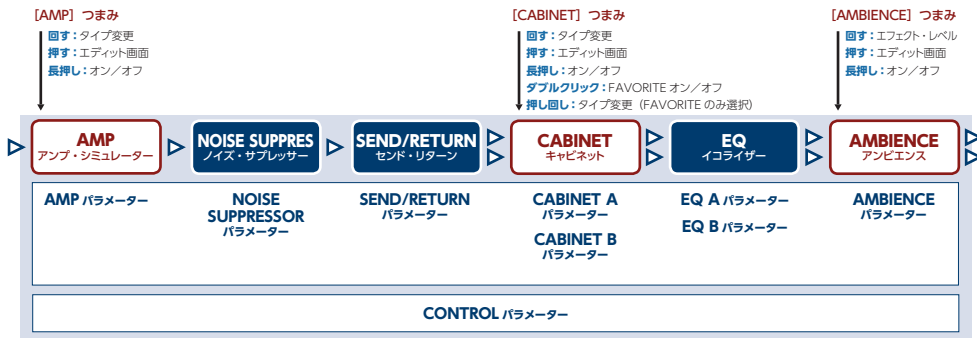
STEREO LINK を ON にすると、OUTPUT A と OUTPUT B を同時に設定できます。

➔ パラメーターについて詳しくは、「**OUTPUT SELECT**」（P.18）をご覧ください。

メモリーのエディット

つまみを回すと、アンプ・タイプ／キャビネット・タイプの変更やアンビエンス・レベルの調節ができます。

メモリー



各パラメーターについて、詳しくは **[MEMORY パラメーター]** (P.13) をご覧ください。

メモリーのエディット

1. [MENU] ボタンを押します。

MENU 画面が表示されます。

2. [MEMORY] つまみで、PAGE 1 を選び、画面の [MEMORY] 表示の下にあるつまみを押します。

MENU>MEMORY 画面が表示されます。

3. 画面のエディットするパラメーターの下にあるつまみを押します。

各項目のエディット画面が表示されます。

ページの切り替え



画面内のパラメーターを画面の下にある3つのつまみで調節します。

エディット画面が複数ページある場合は、
[MEMORY] つまみを回して切り替えます。

メモ

- [EXIT] ボタンを押すと、1 つ前の画面に戻ります。
- [MENU] ボタンを押すと、MENU 画面に戻ります。



AMP パラメーターの
GAIN と LEVEL

AMP パラメーター
の BASS、MIDDLE、
TREBLE

メモリーの保存／切り替え

メモリーに保存する (WRITE)

エディットしたエフェクトの設定を保存することができます。

1. [MENU] ボタンと[EXIT] ボタンを同時に押します。
WRITE UTILITY 画面が表示されます。
2. 画面の[WRITE]表示の下にあるつまみを押します。
3. [AMP] (TARGET) つまみで保存先を選び、
[MEMORY] (ENTER) つまみを押します。
中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。
4. メモリー名を設定します。

操作子	説明
[AMP] (CHAR) つまみ	文字を変更します。
[CABINET] (CURSOR) つまみ	カーソル位置を変更します。
[AMBIENCE] (Aa0!) つまみ	文字種を変更します。
[EXIT] ボタン	前の画面に戻ります。

5. [MEMORY] (ENTER) つまみを押します。
メモリーが保存されます。

メモリーを切り替える

保存したメモリーを呼び出します。

1. [MEMORY] つまみを押して、メモリー・ナンバーにカーソルをあわせます。



2. [MEMORY] つまみを回して、メモリーを選びます。
[▼] [▲] スイッチでもメモリーを切り替えることができます。

メモリーを入れ替える (EXCHANGE)

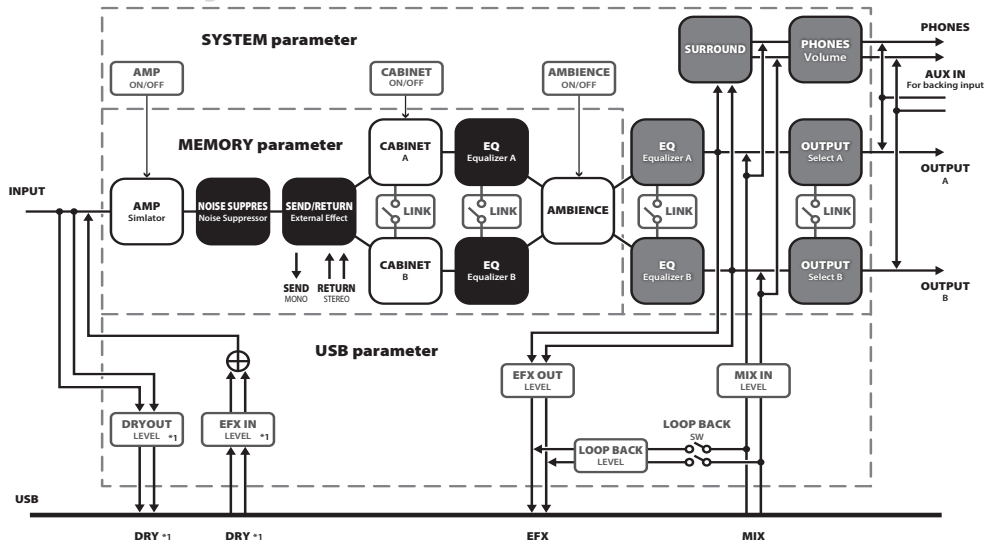
1. [MENU] ボタンと [EXIT] ボタンを同時に押します。
WRITE UTILITY 画面が表示されます。
2. 画面の「EXCHANGE」表示の下にあるつまみを押します。
3. [AMP] (TARGET) つまみでターゲットを選び、
[MEMORY] (ENTER) つまみを押します。
中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。
4. [MEMORY] (ENTER) つまみを押します。
カレント・メモリーと選んだメモリーが入れ替わります。

メモリーを初期化する (INITIALIZE)

1. [MENU] ボタンと [EXIT] ボタンを同時に押します。
WRITE UTILITY 画面が表示されます。
2. 画面の「INITIALIZE」表示の下にあるつまみを押します。
3. [AMP] (TARGET) つまみでターゲットを選び、
[MEMORY] (ENTER) つまみを押します。
中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。
4. [MEMORY] (ENTER) つまみを押します。
メモリーが初期化されます。

設定をする (メニュー)

IR-200 Block Diagram



*1 Windows、Mac OS 用の VENDOR ドライバー (IR-200 ドライバー) のみ対応です。
iOS には対応していません。

設定をする(メニュー)

メモリーの設定はメモリーごとに個別に保存されます。
メモリー以外の設定は機器全体の設定として保存されます。

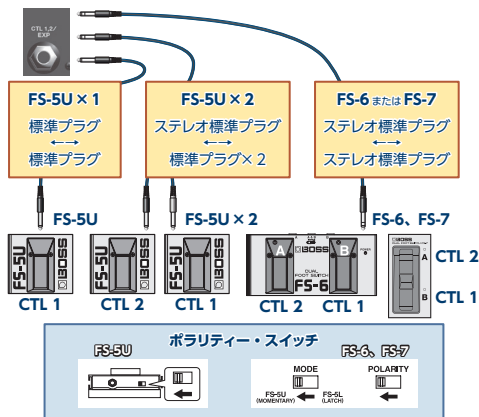
基本操作

1. **[MENU] ボタンを押します。**
MENU モードになります。
2. **[MEMORY] つまみを回してページを切り替え、画面下のつまみを押します。**
3. **[MEMORY] つまみを回してページを切り替え、画面下のつまみを押します。**
値が表示されます。
4. **画面下の 3 つのつまみを回して、値を変えます。**
[MEMORY] つまみを回してページを切り替えます。
[EXIT] ボタンを押すと 1 つ前の画面に戻ります。
5. **[MENU] ボタンを押します。**
MENU 画面のトップに移動します。

外部ペダルに機能を割り当てる

CTL 1、2/EXP 端子にフットスイッチ (別売: FS-5U、FS-6、FS-7) を接続して、アンプの SOLO スイッチのオン/オフやメモリーの切り替えができます。

[DOWN/UP FUNCTION / CTL FUNCTION] (P.17) で設定します。



パラメーター一覧

※ IR-200 の内部構成については、ブロック図を合わせてご覧ください。

メモリーごとの設定

MEMORY パラメーター

「メモリーに保存する (WRITE)」(P.9) の操作でメモリーごとに設定、保存することができます。この操作をしないと、メモリーを切り替えたときに失われます。

INPUT

パラメーター	設定値
SETTING	1 ~ 10: SETTING ナンバーを選びます。 LEVEL は、[SYSTEM] > [INPUT] > [LEVEL] で設定します。 SYSTEM: すべての MEMORY で同じ SETTING ナンバーが共有されます。 SETTING ナンバーは、[SYSTEM] > [INPUT SETTING] > [PREF] で選びます。

AMP

パラメーター	設定値
TYPE	搭載 AMP TYPE はボスのホームページの音色リストをご覧ください。 ➔ https://www.boss.info/jp/support/
GAIN	0 ~ 120 : アンプの歪み具合を調節します。
LEVEL	0 ~ 100: アンプ全体の音量を調節します。 ※ LEVEL は上げ過ぎないように注意してください。
BASS	0 ~ 100 : 低音域の音質を調節します。
MIDDLE	0 ~ 100 : 中音域の音質を調節します。
TREBLE	0 ~ 100 : 高音域の音質を調節します。
GAIN SW	LOW、MIDDLE、HIGH
SOLO SW	OFF、ON : ソロに適した音色に切り替わります。
SOLO LEVEL	0 ~ 100 : SOLO SW がオンのときの音量を調節します。

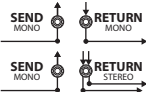
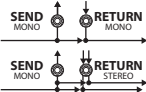
設定をする(メニュー)

NOISE SUPPRESSOR

パラメーター	設定値
THRESHOLD	OFF, 1 ~ 100: ノイズの大きさに応じて調節します。ノイズが大きいときは値を大きく、ノイズが小さいときは値を小さくします。ギター音の減衰が自然に聞こえるように調節してください。 ※ スレッシュホールドを大きな値に設定すると、ギターのボリュームを絞って演奏したときに音が出なくなることがあります。
RELEASE	0 ~ 100: ノイズ・サプレッサーがはたらき始めてからノイズの音量が完全に減衰するまでの時間を調節します。

SEND/RETURN

パラメーター	設定値
ON/OFF	OFF, ON: SEND/RETURN のオン/オフを設定します。
POSITION	SEND/RETURN を配置する場所を設定します。 PRE CAB: CABINET A、CABINET B の手前に配置します。 POST EQ: EQ A、EQ B のあとに配置します。 → 『音色リスト』 (BOSS ホームページよりダウンロード) https://www.boss.info/jp/support/

パラメーター	設定値
MODE	NORMAL MONO RET (MONO RETURN) / NORMAL STEREO RET (STEREO RETURN): エフェクト配列内の SEND / RETURN への入力を SEND 端子に出力し、RETURN 端子からの入力を SEND / RETURN の後ろへ出力します。IR-200 のエフェクト配列の中に外部エフェクターを直列に接続したい場合に使用します。 
	DIR MIX MONO RET (MONO RETURN) / DIR MIX STEREO RET (STEREO RETURN): エフェクト配列内の SEND / RETURN への入力を SEND 端子に出力し、RETURN 端子からの入力と SEND / RETURN への入力 (ダイレクト音) をミックスして、SEND / RETURN の後ろへ出力します。IR-200 のエフェクト音と外部エフェクターをかけた音とをミックスしたい場合に使用します。 
SEND LEVEL	0 ~ 200: 外部エフェクターへ出力する音量を設定します。
RET LEVEL	0 ~ 200: 外部エフェクターから入力される音量を設定します。
ADJUST	0 ~ 100: IR-200 内部と SEND/RETURN 端子間に接続した外部エフェクターの間で生じる時間差を調整します。

CABINET A / CABINET B

パラメーター	設定値
A/B LINK	OFF, ON: ON にしていると CABINET A と CABINET B を同時に設定できます。 ※ A/B LINK が「ON」のときは、CABINET A 側で設定します。
OUT MODE (OUTPUT MODE)	CABINET の出力の仕方を設定します。 MONO MIX: CABINET A と CABINET B をミックスします。 STEREO: CABINET A と CABINET B をステレオで出力します。 →『音色リスト』(BOSS ホームページよりダウンロード) https://www.boss.info/jp/support/
ADJUST	CABINET A に対する CABINET B の遅延量を調節します。
CAB TYPE (CABINET TYPE)	搭載 CAB TYPE はボスのホームページの音色リストをご覧ください。 USER IR 1 ~ USER IR 128: 専用ツールを使って IR データ (Impulse Response) を本体にロードすることにより、オリジナルの CAB TYPE を作成することができます。 専用ツールは、ボスのホームページからダウンロードしてください。 → https://www.boss.info/jp/support/
MIC LEVEL	0 ~ 100: マイクの音量を調節します。
DIR MIX (DIRECT MIX)	0 ~ 100: ダイレクト音 (スピーカーをオフにした音) のミックス音量を調節します。

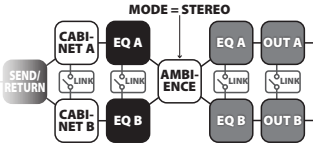
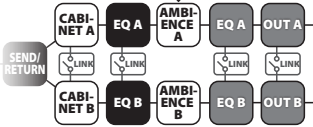
EQ A / EQ B

パラメーター	設定値
A/B LINK	OFF, ON: ON にしていると EQ A と EQ B を同時に設定できます。 ※ A/B LINK が「ON」のときは、EQ A 側で設定します。
ON/OFF	OFF, ON: オン/オフを設定します。
TYPE	PARAMETRIC: 4 帯域を調整することができます。 GRAPHIC: 10 帯域を調整することができます。
TYPE = PARAMETRIC	
LOW GAIN	-20dB ~ +20dB: 低音域の音質を調節します。
HIGH GAIN	-20dB ~ +20dB: 高音域の音質を調節します。
LEVEL	-20dB ~ +20dB: イコライザー全体の音量を調節します。
LM FREQ (LOW-MID FREQ)	20.0Hz ~ 16.0kHz: LOW-MID GAIN で調節される中心周波数を設定します。
LM Q (LOW-MID Q)	0.5 ~ 16: LOW-MID FREQ で設定された周波数を中心に EQ のかかる範囲を調節します。値を大きくするほど範囲は狭くなります。
LM GAIN (LOW-MID GAIN)	-20dB ~ +20dB: 中低域の音質を調節します。
HM FREQ (HIGH-MID FREQ)	20.0Hz ~ 16.0kHz: HIGH-MID GAIN で調節される中心周波数を設定します。
HM Q (HIGH-MID Q)	0.5 ~ 16: HIGH-MID FREQ で設定された周波数を中心に EQ のかかる範囲を調節します。値を大きくするほど範囲は狭くなります。
HM GAIN (HIGH-MID GAIN)	-20dB ~ +20dB: 中高域の音質を調節します。

設定をする(メニュー)

パラメーター	設定値
TYPE = GRAPHIC	
LEVEL	-20dB ~ +20dB : イコライザー全体の音量を調節します。
31.5Hz	-20dB ~ +20dB : 各帯域の音量を調節します。
63Hz	
125Hz	
250Hz	
500Hz	
1kHz	
2kHz	
4kHz	
8kHz	
16kHz	

AMBIENCE

パラメーター	設定値
MODE	STEREO : ステレオの AMBIENCE として動作します。 DUAL MONO : OUTPUT A/B に別の機器を接続する場合、MONO で 2 系統の AMBIENCE として動作します。TYPE などのパラメーターは OUTPUT A/B で共通です。 MODE が STEREO のとき  MODE が DUAL MONO のとき 
TYPE	THRU、ROOM、STUDIO、HALL 搭載 AMBIENCE TYPE はボスのホームページの音色リストをご覧ください。 ➡ https://www.boss.info/jp/support/

パラメーター	設定値
TIME	0.1s ~ 10.0s : 残響音の長さ (時間) を調節します。
TONE	-50 ~ +50 : 残響音の音質を調節します。
LEVEL (EFFECT LEVEL)	0 ~ 100 : 残響音の音量を調節します。

DOWN/UP FUNCTION / CTL FUNCTION

パラメーター	設定値
FUNCTION	フットスイッチで操作するパラメーターを設定します。 MEMORY、AMP SOLO、EQ、SEND/RET
PARAM	MEMORY : DEC、INC、1 ~ 128 AMP SOLO : ON / OFF EQ : A ON / OFF、B ON / OFF、A+B ON / OFF SEND/RET : ON / OFF
PREF	MEMORY : メモリーごとに設定を変えます。 SYSTEM : 全メモリーで同じ設定にします。

EXP PDL FUNCTION

パラメーター	設定値
FUNCTION	エクスプレッション・ペダルで操作するパラメーターを設定します。 OFF、AMP GAIN、AMP LEVEL、AMP SOL LV、SEND LEVEL、RET LEVEL
MIN	0 ~ 100 : エクスプレッション・ペダルで操作するパラメーターの可変範囲の下限値を設定します。

パラメーター	設定値
MAX	0 ~ 100 (AMP GAIN 時のみ 0 ~ 120) : エクスプレッション・ペダルで操作するパラメーターの可変範囲の上限値を設定します。
PREF	MEMORY : メモリーごとに設定を変えます。 SYSTEM : 全メモリーで同じ設定にします。

機器全体の設定

SYSTEM パラメーター

INPUT

パラメーター	設定値
PREF (PREFERENCE)	MEMORY : MEMORY ごとに SETTING を指定します。 SETTING 1 ~ 10 : すべての MEMORY で同じ SETTING ナンバーが共有されます。
SETTING	1 ~ 10 : SETTING ナンバーを選びます。
LEVEL	-20dB ~ +20dB : 入力レベルを設定します。

設定をする(メニュー)

OUTPUT SELECT

接続したアンプの種類を選びます。

パラメーター	設定値
A/B LINK	OFF, ON : ONにしていると OUTPUT A と OUTPUT B を同時に設定できます。 ※ A/B LINK が「ON」のときは、A 側で設定します。
A: TYPE	LINE : IR-200 を PC オーディオ・インターフェース、キーボード用アンプ、ミキサー、デジタル・レコーダーなどに接続する場合の設定です。 JC-120 RETURN : ローランドのギター・アンプ JC-120 の RETURN に接続する場合の設定です。 JC-120 INPUT : JC-120 のギター用入力に接続する場合の設定です。 COMBO AMP 1 RETURN : スピーカーを 1 発搭載したの真空管コンボ・アンプ (アンプとスピーカーが一体になったタイプ) の RETURN に接続する場合の設定です。 COMBO AMP 1 INPUT : スピーカーを 1 発搭載したの真空管コンボ・アンプの INPUT に接続する場合の設定です。 COMBO AMP 2 RETURN : スピーカーを 2 発搭載したの真空管コンボ・アンプの RETURN に接続する場合の設定です。 COMBO AMP 2 INPUT : スピーカーを 2 発搭載したの真空管コンボ・アンプの INPUT に接続する場合の設定です。 STACK RETURN : スタック・アンプ (アンプとスピーカーが分離したタイプ) のギター・アンプの RETURN に接続する場合の設定です。
B: TYPE	

パラメーター	設定値
A: TYPE	STACK INPUT : スタック・アンプのギター・アンプの INPUT に接続する場合の設定です。 BASS AMP W/TWET : ツイーター付きのベース・アンプに接続する場合の設定です。 BASS AMP : ツイーターの付いていないベース・アンプに接続する場合の設定です。
B: TYPE	

PHONES

パラメーター	設定値
VOLUME	0 ~ 100 : ヘッドホンの音量を調節します。
SURROUND	OFF, ON : ヘッドホンのサラウンドのオン/オフを切り替えます。「ON」にすると、目の前にあるアンプを鳴らしているかのような定位感を再現します。
AMBIENCE LEVEL	0 ~ 100 : ヘッドホンのアンビエンスの音量を調節します。

GLOBAL EQ A / GLOBAL EQ B

MEMORY パラメーターの EQ A / EQ B と同じ内容です。

MEMORY EXTENT

パラメーター	設定値
MIN	
MAX	1 ~ 128 : 選べるメモリーの範囲を設定します。

EXP PDL HOLD

パラメーター	設定値
EXP PDL HOLD	メモリーを切り替えたとき、EXP PEDAL の FUNCTION の操作状態を引き継ぐかどうかを設定します。 ON、OFF

USB

パラメーター	設定値
MODE	内容はブロック図をご覧ください。 VENDOR : Windows、Mac OS に接続する場合は、VENDOR に設定します。 ローランドのホームページからダウンロードした IR-200 ドライバーをインストールしてください。 GENERIC : iOS 機器に接続する場合は、GENERIC に設定します。 iOS の標準機能で動作します。 VENDOR と比べ、一部機能制限があります。

USB VENDOR

パラメーター	設定値
DRY OUT (DRY OUT LEVEL)	0 ~ 200 : IR-200 に入力されたギター音をエフェクト処理せず、そのまま (DRY 音) 出力します。
EFX IN (EFX IN LEVEL)	0 ~ 200 : パソコンからの入力音のレベルを調節します。

パラメーター	設定値
EFX OUT (EFX OUT LEVEL)	0 ~ 200 : IR-200 のエフェクトを通してパソコンへ出力される音のレベルを調節します。
MIX IN (MIX IN LEVEL)	0 ~ 200 : パソコンからの入力音のレベルを調節します。このとき、パソコンからの入力音は IR-200 の最終段でミックスされます。
LOOPBK SW (LOOPBACK SW)	OFF、ON : ON にすると、パソコンからの入力音をそのままパソコンへ返します (ループバック)。
LB LEVEL (LOOPBACK LEVEL)	0 ~ 200 : ループバックでパソコンへ返す音のレベルを調節します。

USB GENERIC

パラメーター	設定値
EFX OUT (EFX OUT LEVEL)	0 ~ 200 : IR-200 のエフェクトを通してパソコンへ出力される音のレベルを調節します。
MIX IN (MIX IN LEVEL)	0 ~ 200 : パソコンからの入力音のレベルを調節します。このとき、パソコンからの入力音は IR-200 の最終段でミックスされます。

OTHER

パラメーター	設定値
AUTO OFF	OFF : 自動で電源が切れません。 ON : 演奏や操作をやめてから 10 時間経過すると、自動的に電源が切れます。
CONTRAST (LCD CONTRAST)	1 ~ 16 : ディスプレイの文字の明るさを調節します。値が大きくなるほど明るさが増します。

設定をする(メニュー)

MIDI

パラメーター	設定値
Rx CH (Rx CHANNEL)	MIDI 情報を受信するための MIDI チャンネルを設定します。 1 ~ 16: 受信チャンネルを設定します。 OFF: 受信しません。
Tx CH (Tx CHANNEL)	MIDI 情報を送信するための MIDI チャンネルを設定します。 1 ~ 16: 送信チャンネルを設定します。 Rx: RX CHANNEL と同じチャンネルで送信します。 OFF: 送信しません。
PC IN	OFF, ON: プログラム・チェンジ受信のオン/オフを設定します。
PC OUT	OFF, ON: プログラム・チェンジ送信のオン/オフを設定します。
CC IN	OFF, ON: コントロール・チェンジ受信のオン/オフを設定します。
CC OUT	OFF, ON: コントロール・チェンジ送信のオン/オフを設定します。
GAIN CC (AMP GAIN CC)	OFF, #1 ~ 31, #64 ~ 95: MIDI で GAIN パラメーターを操作するときの CC ナンバーを設定します。
LEVEL CC (AMP LEVEL CC)	OFF, #1 ~ 31, #64 ~ 95: MIDI で LEVEL パラメーターを操作するときの CC ナンバーを設定します。
SOLO SW CC (AMP SOLO SW CC)	OFF, #1 ~ 31, #64 ~ 95: MIDI で SOLO スイッチを操作するときの CC ナンバーを設定します。
SOLO LV CC (AMP SOLO LEVEL CC)	OFF, #1 ~ 31, #64 ~ 95: MIDI で SOLO LEVEL を操作するときの CC ナンバーを設定します。
DOWN SW CC	OFF, #1 ~ 31, #64 ~ 95: MIDI で [▼] スイッチを操作するときの CC ナンバーを設定します。

パラメーター	設定値
UP SW CC	OFF, #1 ~ 31, #64 ~ 95: MIDI で [▲] スイッチを操作するときの CC ナンバーを設定します。
CTL 1 CC	OFF, #1 ~ 31, #64 ~ 95: MIDI で CTL 1 を操作するときの CC ナンバーを設定します。
CTL 2 CC	OFF, #1 ~ 31, #64 ~ 95: MIDI で CTL 2 を操作するときの CC ナンバーを設定します。
EXP CC	OFF, #1 ~ 31, #64 ~ 95: MIDI で EXP を操作するときの CC ナンバーを設定します。
BYPASS ON/OFF CC	OFF, #1 ~ 31, #64 ~ 95: MIDI で BYPASS するときの CC ナンバーを設定します。
MIDI THRU	OFF, USB, MIDI, U+M: MIDI IN 端子から入力した MIDI メッセージを、どの端子に出力するかを設定します。
USB THRU	OFF, USB, MIDI, U+M: USB 端子から入力した MIDI メッセージを、どの端子に出力するかを設定します。

MIDI PC MAP

外部 MIDI 機器から送信されるプログラム・チェンジ情報でメモリーを切り替えるときに、IR-200 が受信したプログラム・チェンジ情報と切り替わるメモリーの対応を「プログラム・チェンジ・マップ」で自由に設定することができます。

パラメーター	設定値
PC#1 ~ PC#128	1 ~ 128: プログラム・ナンバーに対応するメモリー番号 (1 ~ 128) を設定します。

FACTORY RESET

パラメーター	設定値
FROM	SYSTEM: システム・パラメーターの設定内容 USER IR: ユーザー IR データ
TO	MEMORY 1 ~ 128: メモリー 1 ~ 128 の設定内容

バックアップする／復元する

専用 IR ローター（ソフトウェア）を使うことで、IR-200 の内容をバックアップ、復元することができます。

専用 IR ローターは、ボスのホームページからダウンロードすることができます。

<https://www.boss.info/jp/support/>

工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)

IR-200 を工場出荷時の設定に戻します。

システムやメモリーを個別に戻すことができます。

1. [MENU] ボタンを押します。

MENU モードになります。

2. [MEMORY] つまみを回して画面の「FACTORY RESET」表示の下にあるつまみを押します。

3. 画面に沿って操作します。

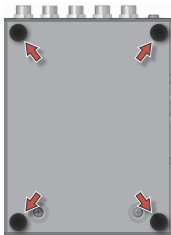
パラメーター	説明
FROM	SYSTEM、USER IR、MEMORY 1 ~ 128 ：工場出荷時の設定に戻す範囲を設定します。
TO	

ゴム足の取り付け

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。

ゴム足は図の位置に貼り付けます。

- ※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
- ※ ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床を傷つける恐れがあります。



主な仕様

電源	AC アダプター
消費電流	335mA
外形寸法	101 (幅) × 138 (奥行) × 63 (高さ) mm (ゴム足を除く) 101 (幅) × 138 (奥行) × 65 (高さ) mm (ゴム足を含む)
質量	660g
付属品	AC アダプター 取扱説明書 「安全上のご注意」 チラシ ゴム足× 4 保証書
別売品	フットスイッチ : FS-5U デュアル・フットスイッチ : FS-6、FS-7 エクスペッション・ペダル : FV-500H、 FV-500L、EV-30、Roland EV-5 MIDI/TRS コネクティング・ケーブル : BMIDI-5-35

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

安全上のご注意／使用上のご注意

警告

Auto Off 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（Auto Off 機能）。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください（P.19）。



付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



注意

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。

- ・ 付属品
ゴム足（P.23）



接地端子の取り扱いに注意する

接地端子ネジは、お子様が誤って飲み込んだりすることのないよう取りはずした状態で放置しないでください。再度ネジを取り付ける際は、ゆるんではずれないように確実に取り付けてください。



設置について

- ・ 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

修理について

- ・ 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ・ 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- ・ 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- ・ 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ・ ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- ・ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。
- ・ 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- 本製品には、第3者のオープンソースソフトウェアが含まれています。

Copyright (c) 2009-2017 ARM Limited. All rights reserved. Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

You may obtain a copy of the License at
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

- 本製品は、T-Engine フォーラム (www.tron.org) の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- Roland、BOSS は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 本書では DSP 技術によってエミュレートされたサウンドを適切に表現するために、各社の会社名および製品名などを使用しています。